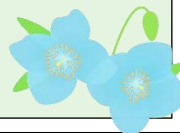


看護実践・キャリア 支援センター通信

2022年
8月

医学部看護学科 看護学科長 川上 あずさ先生

副センター長就任のご挨拶



Vol.24



4月より、副センター長に就任致しました。どうぞよろしくお願い致します。

これまで、看護実践・キャリア支援センターへの関わりは、主に学生の看護師としてのキャリア形成や附属病院への就職についての連携・協力でしたが、運営委員会等に出席させていただき、センターの事業が幅広く多岐に及んでいることが理解できてきました。

センター事業で実施されているキャリアデザインプログラムは、学年進行に合わせて計画されており、学生は、早期より医療職者としての将来像を描くことができ、看護学科の強みであると考えています。看護基礎教育はじめ、看護実践教育、研究支援・実践、地域貢献、等センターの事業が発展できるよう微力ながら尽力してまいります。



看護基礎教育 看護学生へのキャリア支援プログラム

看護実践キャリア支援センターでは、看護学科の学生たちに、看護専門職として自分のキャリアを考えてもらうためのプログラムを行っています。

今年度は4月1日に4年生対象に来年就職するという心構えとして、看護協会の飯尾美和会長に「奈良県での就職に関する説明」を、看護学科の奥田淳先生に「社会人としての基礎」をお話いただきました。4月2日には新入生対象に、入学時オリエンテーションで、橋口智子看護部長に看護の現場で働く者の思いについて、6月9日には基礎看護学実習前の2年生対象に、橋口看護



4年生対象講師
奈良県看護協会
飯尾美和会長



2年生には看護のキャリアや実習の心構えを

部長から看護師の資格を得ることで広がる看護のキャリア形成についてお話いただきました。また今年度は医大OGで奈良医大附属病院に勤務する若手看護師の中山琴美さん、中村莉子さんから実習前の心構えについて実体験を元にしたアドバイスを含めたお話を頂きました。学生は、年齢の近い身近な先輩のリアルなお話を受けて、これから始まる臨床実習に向かう姿勢や、モチベーションアップに繋げてくれることを期待します。

看護実践教育 令和4年度 特定行為研修



3年ぶりに開講式を開催

4月7日に開講式を行い、現在、共通科目のeラーニングや対面・オンラインのハイブリッドによる演習も無事終了しました。今後、実技試験（OSCE）を実施し、10月からの臨地実習を始めます。

受講生が順調に修了されるよう、サポートを続けます。

【令和5年度受講生を募集しています】

看護師が特定行為研修を受講することにより医師の作成する「手順書」に基づいたタイムリーな患者対応が可能になることから、臨床での特定行為への必要性や期待は年々高まっています。

本学も平成27年から特定行為研修を行っており、今年度は急性期コースに4名、慢性期・在宅コースに8名、選択区分(PICC)に2名、特定行為研修修了生の追加区分に2名の受講生を迎えました。



患者役と医師役で「フォーム」コンテストの演習

地域貢献事業 「ストーマケアのキホン」

5月14日に、附属病院創傷相談室の皮膚・排泄ケア認定看護師西林直子さん、消化器外科病棟看護師の千葉泉海さん、高橋菜美さんを講師に、ストーマを造設した患者の退院に向けたストーマケアの研修を実施しました。初めてストーマを持つことになった方々のこれからの生活に向けて、身体面・精神面だけでなく社会的な資源の活用までサポートしていくことが必要になってきます。研修では、ストーマケアの



保護剤を実際に使った演習も

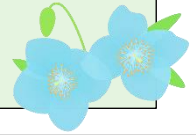
基本的知識の説明後、

実際に使用している洗浄剤、保護剤等を使って、ストーマ装具交換の演習を行いました。受講者が自分に疑似「人工肛門」をつけて、患者体験をする演習もあり、「自分で排便体験をして、患者の緊張する気持ちが分かった」と好評でした。9月には、今回の続編として、「ストーマケアのジレンマを解消しよう！」研修を予定していますので、ストーマケアでの悩みをお持ちの方、ご参加お待ちしております。



ストーマ患者の目線になって体験

看護基礎教育 上級臨床指導者育成プログラム



上級臨床指導者育成プログラムは、実習指導者の指導役として教育の現場に携わる人を看護学科の協力を得て育成する1年間のプログラムです。今年度は4名が参加し、初日である6月29日には看護学科の川上あずさ学科長と澤見一枝教授による

「指導者とは指導者を指導することとは」の講義と演習を受けました。その中で、受講生は、活発に意見を出し合うなど積極的に、看護教育のリーダー的役割を担う指導者としての期待に応える意気込みを感じられました。

今後、このプログラムを通して受講生の皆さんが、それぞれの教育に関する課題の発見をし、看護教育への造詣を深め、実践へと繋げていって頂けることを期待しています。



現在の学生に合った看護教育を考える



地域貢献事業 「忠犬ハチ公は、なぜ待ち続けて、死んだのか」



講師：佐藤 泰子先生

7月9日(土)臨床人間学がご専門の京都大学大学院佐藤泰子先生を講師に迎え、患者や看護にどう向き合うかを考える研修を行いました。

先生にお越しいただくのは今年で3年目ですが、いつも魅力的なテーマと熱い語りにリピーターも多く参加されていました。研修では“忠犬ハチ公は飼い主の上野先生との思い出の中に生きていた”という話から、自分の存在や意味が人との関係の中にあることを考え、それは患者との関わりの中にもあることに気付きました。受講者からは「生きる意味を今一度考える機会となりました。利用者さんに向き合い、寄り添っていける看護師になりたいです。」「“誰かとの間(あわい)にしか人は生きられない”という言葉の深さを知ることができ、様々な現在の思い、考えの根底に気付くことができ、気持ちの整理に繋がりました。」等、先生のお話が心に響いたという感想が多く寄せられました。

今回は佐藤先生の言の葉メッセージをカードにしたものを配布しました。研修が終わっても好きなメッセージで自分の思いと向き合い、元気や勇気を取り戻すきっかけになればと思います。

【当研修での COVID-19 感染者の発生について】

当研修において10名の COVID-19 の感染者が発生しました。このことで、受講者とそのご家族や職場の方々には多大なご迷惑をおかけすることになりました。今後は安心して受講していただけるよう、この教訓を踏まえた感染防止対策を徹底した上で、研修を開催して参ります。

■急性期コース(平成 28 年 1 月開講)

本コースでは、昨年度は COVID-19 の影響下ではありますが、6 期生 3 名が、4 月から e-ラーニングでの講義、対面での演習や OSCE 終了後、10 月から附属病院の集中治療部や高度救命救急センター等で、熟練した医師の指導の下、臨地実習を行い、全員修了いたしました。

特に本学には、多職種カンファレンスを定期的に行う等、医学的な見解に加え、患者やその家族の希望、さらに QOL 等の多面的な視点を考慮に入れた患者の生活を見据えた対話を行う習慣があります。ほかの研修機関では学べない倫理的な視点についても学べるカリキュラムも導入しています。



人工呼吸療法演習

■慢性期・在宅コース(平成 30 年 4 月開講 令和 2 年度改称)

令和 2 年度に「在宅コース」から「慢性期・在宅コース」に改称し、血糖コントロール等更に内容を充実して実施しています。本コースでは、昨年度は COVID-19 の影響下ではありますが、4 期生 5 名が、4 月から e-ラーニングでの講義、対面での演習や OSCE 終了後、10 月から臨地実習を行い、全員修了いたしました。

本学では、臨地実習に際し県内 11 施設にご協力いただき、実習環境を確保しています。



胃ろう演習

○選択区分:栄養に係るカテーテル管理 (末梢留置型中心静脈注射用カテーテル管理)関連

(令和 3 年 4 月開講)

※受験資格は上記 2 コースの受講者(受験者)及び修了生
1 期生 3 名が附属病院中央放射線部で実習を行い、全員修了いたしました。選択区分では、PICC(末梢留置型中心静脈注射用カテーテル)の挿入手技や管理以外にも、CV ポートの管理についても学ぶことができます。



PICC 演習

★令和 5 年度受講生募集中 各医療機関へ募集要項を配布しています★

今後のセンター事業

☆「ストーマケアのジレンマを解消しよう！」

日時:令和 4 年 9 月 24 日 13:00~17:00

☆「明日から使える CV ポートの基礎知識と管理方法」

日時:令和 4 年 12 月 10 日 13:00~17:00

☆「家族看護(初級編)」

日時:令和 5 年 2 月 4 日 予定

☆「特定行為実践」

日時:調整中

☆対人関係の心理学 入門編(全 5 回)

日時:令和 4 年 9 月 29 日,10 月 13・27 日,
11 月 17 日,12 月 1 日

☆看護学科学生(4 年生)対象のキャリアデザイン
プログラム

日時:令和 4 年 11 月 予定

